

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月4日

上場会社名 サンコール株式会社
 コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日

(氏名) 幸元 攻
 (氏名) 川北 哲生
 配当支払開始予定日

上場取引所 大
 TEL 075-881-5280
 平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,436	—	1,324	—	1,363	—	757	—
20年3月期第2四半期	18,300	3.0	1,796	14.5	1,875	17.4	1,007	8.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	23.68	23.60
20年3月期第2四半期	31.52	31.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	34,726	24,661	70.8	768.48
20年3月期	35,674	25,217	70.5	786.58

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 24,569百万円 20年3月期 25,150百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	11.00	19.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△6.0	2,450	△31.0	2,400	△29.6	1,400	△24.0	43.79

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	34,057,923株	20年3月期	34,057,923株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	2,086,166株	20年3月期	2,083,328株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	31,973,278株	20年3月期第2四半期	31,976,696株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【全般的概況】

※ 前年同期増減率（前年同期の金額）は、参考として記載しております。

[経済及び事業環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰やサブプライムに端を発したアメリカの金融危機を契機として世界全体で景気減速が進む中で、景気を支えていた輸出の伸びが鈍化、個人消費もダウンし、期を追って厳しい景況感になっております。

このような環境の中で当社グループは、コアである精密塑性加工技術と素材から加工品までの一貫生産メーカーとしての特長を生かしながら、一層のコストダウンに努める一方、部品メーカーとしてお客様の要求品質と供給責任を全うすべく努力してまいりました。

[連結業績]

当社グループの売上高は、精密機能部品のリングギア、異形ばねが好調でありましたが、サスペンション、プリンター関連、光部品の落ち込みが大きく、全体で174億36百万円（前年同期間比4.7%減）となりました。

利益面につきましては、為替の増収効果の大幅減に、子会社の業績悪化や為替損失等にて、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ13億24百万円（前年同期間比26.2%減）、13億63百万円（前年同期間比27.3%減）、7億57百万円（前年同期間比24.9%減）と大幅減益となりました。

【製品区分別の売上業績】

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日		自平成20年4月1日 至平成20年9月30日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,054	11.2	2,059	11.8	4	0.2
精密機能部品	9,777	53.4	10,134	58.1	357	3.7
サスペンション	2,960	16.2	2,175	12.5	△ 784	△ 26.5
プリンター関連	1,724	9.4	1,515	8.7	△ 209	△ 12.1
デジトロ精密部品	1,548	8.5	1,337	7.7	△ 211	△ 13.6
その他製品	234	1.3	214	1.2	△ 20	△ 8.9
合 計	18,300	100.0	17,436	100.0	△ 864	△ 4.7

[精密機能材料]

硬引線やピストンリングは好調を維持しましたが、全体としては20億59百万円（前年同期間比0.2%増）の微増となりました。

[精密機能部品]

弁ばね、リングギア、異形ばねが好調を維持したことにより、101億34百万円（前年同期間比3.7%増）となりました。

[サスペンション]

1. 8インチの取引がゼロになったことや供給先の生産調整が続き、21億75百万円（前年同期間比26.5%減）の大幅減となりました。

[プリンター関連]

材料値上と競争激化に伴う価格下落の影響を受け、15億15百万円（前年同期間比12.1%減）となりました。

[デジトロ精密部品]

北米向けの光部品が不調にて、13億37百万円（前年同期間比13.6%減）となりました。

[その他製品]

カム製品の低調もあり、2億14百万円（前年同期間比8.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、347億26百万円（前連結会計年度末比9億48百万円減）となりました。これは、株価下落により投資有価証券が9億48百万円減少したことなどによります。

[負債]

負債は、100億64百万円（前連結会計年度末比3億91百万円減）となりました。これは、短期借入金が2億17百万円、長期借入金が3億22百万円減少したことなどによります。

[純資産]

純資産は、246億61百万円（前連結会計年度末比5億56百万円減）となりました。これは、株価下落によるその他有価証券評価差額金が5億66百万円、為替換算調整勘定が4億23百万円減少したことによります。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、41億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億60百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益（13億53百万円）や減価償却費（12億47百万円）、仕入債務の増加（4億74百万円）による収入があり、一方、売上債権の増加（2億65百万円）、棚卸資産の増加（3億40百万円）による支出がありました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億32百万円の支出となりました。これは、固定資産取得による支出（7億46百万円）などによります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億36百万円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出（4億54百万円）、配当金の支払（3億50百万円）などによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

アメリカの金融危機を震源として世界的に急速な景気減速が起こる中で、当社の主要取引先である自動車メーカーの減産の動きが顕著であること、又、為替市場では円高が急速に進んでいること等から、通期の業績見通しの前提に大きな変化が起きています。よって、通期の業績見通しを、前回（平成20年5月15日）の公表数字より以下のように下方修正しております。

【連結業績予想】

通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位 百万円）

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A)/(A)	前期実績 (C)
売上高	38,000	35,000	△ 3,000	△ 7.9	37,218
営業利益	3,500	2,450	△ 1,050	△ 30.0	3,552
経常利益	3,550	2,400	△ 1,150	△ 32.4	3,410
当期純利益	1,900	1,400	△ 500	△ 26.3	1,841

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日 内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として月別移動平均法による低価法から主として月別移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,140	4,163
受取手形及び売掛金	7,849	7,722
製品	1,229	1,097
仕掛品	1,457	1,447
原材料及び貯蔵品	1,317	1,290
その他	629	529
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	16,616	16,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,063	4,211
機械装置及び運搬具(純額)	6,866	7,097
その他(純額)	2,609	2,583
有形固定資産合計	13,539	13,892
無形固定資産	277	300
投資その他の資産		
投資有価証券	3,271	4,219
その他	1,021	1,017
投資その他の資産合計	4,292	5,237
固定資産合計	18,109	19,429
資産合計	34,726	35,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,906	4,614
短期借入金	283	501
未払法人税等	635	630
役員賞与引当金	13	—
賞与引当金	402	339
製品保証引当金	11	12
その他	2,058	2,022
流動負債合計	8,311	8,119
固定負債		
長期借入金	229	552
退職給付引当金	966	977
その他	557	807
固定負債合計	1,753	2,336
負債合計	10,064	10,456

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,737	2,737
利益剰余金	16,699	16,294
自己株式	△910	△909
株主資本合計	23,335	22,931
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,334	1,901
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	△104	319
評価・換算差額等合計	1,234	2,219
新株予約権	91	67
純資産合計	24,661	25,217
負債純資産合計	34,726	35,674

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	17,436
売上原価	14,059
売上総利益	3,377
販売費及び一般管理費	
運送費及び保管費	336
報酬及び給料手当	531
役員賞与引当金繰入額	13
賞与引当金繰入額	95
退職給付費用	56
その他	1,018
販売費及び一般管理費合計	2,052
営業利益	1,324
営業外収益	
受取配当金	42
物品売却益	53
その他	37
営業外収益合計	133
営業外費用	
為替差損	76
その他	18
営業外費用合計	94
経常利益	1,363
特別利益	
有価証券売却益	10
その他	0
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産廃棄損	17
その他	4
特別損失合計	21
税金等調整前四半期純利益	1,353
法人税、住民税及び事業税	635
法人税等調整額	△38
法人税等合計	596
四半期純利益	757

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,353
減価償却費	1,247
のれん償却額	35
引当金の増減額 (△は減少)	66
受取利息及び受取配当金	△49
支払利息	14
固定資産廃棄損	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△265
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△340
仕入債務の増減額 (△は減少)	474
その他	△297
小計	2,255
利息及び配当金の受取額	49
利息の支払額	△14
法人税等の支払額	△629
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△746
固定資産の売却による収入	1
投資有価証券の売却による収入	14
貸付金の回収による収入	5
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△29
長期借入金の返済による支出	△454
配当金の支払額	△350
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26
現金及び現金同等物の期首残高	4,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,137

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	18,300	100.0
II 売上原価	14,579	79.7
売上総利益	3,721	20.3
III 販売費及び一般管理費	1,925	10.5
運送費	329	
役員報酬	117	
給料手当	381	
役員賞与引当金繰入額	14	
賞与引当金繰入額	119	
退職給付費用	31	
業務委託費	80	
租税公課	45	
減価償却費	102	
地代家賃	78	
旅費交通費	61	
のれん償却額	35	
その他	526	
営業利益	1,796	9.8
IV 営業外収益	139	0.8
受取利息	8	
受取配当金	41	
賃貸料	19	
為替差益	3	
作業屑売却益	27	
その他	40	
V 営業外費用	61	0.3
支払利息	28	
その他	32	
経常利益	1,875	10.2
VI 特別利益	1	0.0
固定資産売却益	0	
投資その他の資産処分益	0	
VII 特別損失	91	0.5
固定資産売却損	0	
固定資産廃棄損	89	
子会社整理損	2	
税金等調整前中間純利益	1,784	9.8
法人税、住民税及び事業税	733	
法人税等調整額	43	
中間純利益	1,007	5.5

前中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	注記 番号	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益		1,784
株式報酬費用		27
減価償却費		1,292
のれん償却額		35
引当金の増減額(△は減少)		72
受取利息及び受取配当金		△ 49
支払利息		28
固定資産売却益		△ 0
固定資産売却損		0
固定資産廃棄損		89
売上債権の増減額(△は増加)		△ 915
たな卸資産の増減額(△は増加)		287
仕入債務の増減額(△は減少)		△ 109
その他		34
小計		2,576
利息及び配当金の受取額		49
利息の支払額		△ 27
法人税等の支払額		△ 798
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,800
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出		△ 1,609
固定資産の売却による収入		6
貸付けによる支出		△ 5
貸付金の回収による収入		6
その他		11
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,590
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)		116
長期借入れによる収入		235
長期借入金の返済による支出		△ 17
配当金の支払額		△ 319
自己株式の売却による収入		0
自己株式の取得による支出		△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー		6
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		50
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		266
VI 現金及び現金同等物の期首残高		2,746
VII 現金及び現金同等物の期末残高		3,013